富士・箱根・伊豆 国際学会 FHIX

（一社）富士・箱根・伊豆 国際学会 事業

東アジア文化都市 2023 静岡県

東アジア文化都市 2023静岡県 Culture City of East Asia 2023 SHIZUOKA

東アジアDNAの源流と、文化・芸術の多様な未来

静岡県東部は、世界ユネスコ文化遺産に登録されＩ０周年の節目を迎えた富士山と、
ユネスコ世界ジオパークに再認定された伊豆半島を有する地域です。
この度「東アジア DNA の源流と、文化・芸術の多様な未来」を開催テーマとし、
DNA 研究の世界的権威である五條堀 孝による企画・監修のもと、
東アジアの源流を遺伝子レベルで紐解き、東アジアと伊豆の歴史的関係性を理解した上で、
多種多様な文化芸術発表、異文化理解・国際親善の促進に寄与し
継続的に発展する事を目的に開催いたします。

令和５年

10月14日（土） 10:00～16:30（受付９:30）

15日（日） 9:20～16:00（受付９:00）

開催会場：韮山時代劇場（静岡県伊豆の国市四日町 772）

14日
- **東アジア DNA の源流と、文化・芸術の多様な未来**
  開催セレモニー・テーマトーク・基調講演
  パネルディスカッション

15日
- **高校／一般の部による研究／活動ポスター発表・プレゼン**
- **歴史から紐解く地域の食文化**
- **伊豆仏像文化**

ふじのくに食と温泉文化フォーラム連携イベント

令和５年 **10月31日（火）**

10:00～16:00（受付９:30）

開催会場：ぬまづプラサヴェルデ
（静岡県沼津市大手町 1-1-4）

- **おかみ学**
- **伊豆の温泉文化 ～ 温泉×ウェルネス＋ICT ～**

全日参加無料

ご挨拶

富士・箱根・伊豆 国際学会
会長　五條堀 孝

一般社団法人 富士・箱根・伊豆 国際学会は、この地域における様々な文化・伝統・学術・産業を含む広範囲な活動を国際的な観光資源として捉え、コミュニティの価値ある知的資源を先端的なデジタル技術を活用してスマートに国内外の人々に向けて発信するとともに、地域の DNA として次世代に継承していくことを標榜する国際学会です。この度、静岡県が選定されました「東アジア文化都市 2023」の、構想と趣旨は本国際学会と共有するところが多く、その成功に向けて全面的にご協力をしたいと考えており、日本を含む東アジアにおいてその歴史的な源流を 共有しながらも多様に文化芸術を開花させてきたことを再認識し、次の世代に発展的に継承させていく意義と絶好の機会を、この「東アジア文化都市２０２３静岡県」は私どもに与えてくれているものと理解しており、本学会としましても学際的かつ実学的な側面から連携・共創をして参ります。

10/14(土)
受付 9:30 より

10月14日は、開催メインテーマでもある「東アジアDNAの源流と、文化・芸術の多様な未来」について、2名の研究者によるテーマトークと当学会の研究テーマでもある「地域DNA」についての基調講演を行います。それをふまえ「東アジア文化都市と伊豆」をテーマに、文化・芸術・クリエイティブ・産業・観光資源など、多様な視点と切り口で国際的理解を深めるとともに、「未来」に向けての示唆を各界の先生方にディスカッションしていただきます。同時開催として、日中韓の貴重な文化芸術品の展示と現代版絵マンダラ「富士山絵伝」、アニメーションを交えた語り部のパフォーマンスを行なっていきます。

セレモニー　10:00～10:30

開　　会
会長挨拶　富士・箱根・伊豆 国際学会　会長　五條堀 孝
祝　　辞　静岡県知事　川勝 平太
開催地挨拶　伊豆の国市長　山下 正行

静岡県知事 川勝 平太

伊豆の国市長 山下 正行

開催テーマ **「東アジアDNAの源流と、文化・芸術の多様な未来」**

第一部　テーマトーク　10:30～12:00

(1)**「遺伝子解析からみた東アジアの民族関係」**
国立遺伝学研究所　特任教授　斎藤 成也 氏

(2)**「東アジアと伊豆の歴史」**
伊豆学研究会　理事長　橋本 敬之 氏

第二部　基調講演　14:00～15:00

「地域DNA（東アジアと伊豆）」
富士・箱根・伊豆 国際学会　会長　五條堀 孝

第三部　パネルディスカッション　15:00～16:30

「東アジア文化都市と伊豆」
パネリスト　奥村 昭博・竹下 誠二郎
斎藤 成也 氏・橋本 敬之 氏
コーディネーター
静岡県理事（東アジア文化都市担当）渋谷 浩史 氏

閉会挨拶　慶應大学 名誉教授
富士・箱根・伊豆 国際学会　副会長　奥村 昭博
交　流　会　17:00～

日中韓 文化芸術展示

会場 大ホール舞台　時間 12:00～14:00

日本
- 五條堀 孝　平成上皇陛下共同論文関連資料、秋篠宮皇嗣殿下博士論文関連資料
- 壁掛け（タペストリー）テーマ「春夏秋冬」

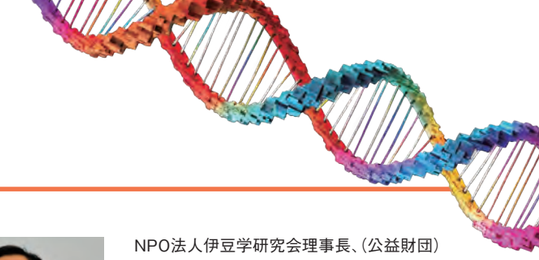
中国
- 孫氏兵法の竹簡
- 唐物茶碗「天目茶碗」「大南宣徳年製茶碗」

韓国
- 「新羅　金冠」復元品

富士山絵伝の掛軸およびアニメ

会場 映像ホール

語り部ライブパフォーマンス ※東アジア DNA フォーラム参加者限定（休憩時間に希望者が参加）	12:30～13:00
	13:15～13:45
予約定員制　定員 30 名	
展示　一般公開	10:00～12:00
	14:00～16:00



10月14日　登壇者

国立遺伝学研究所
特任教授
斎藤 成也 氏

1957年　福井県生まれ
1979年　東京大学理学部生物学科　卒業
1986年　米国テキサス大学ヒューストン校
生物学医学大学院　修了(Ph.D.)
1989年　東京大学理学部生物学科助手
1991年　国立遺伝学研究所進化遺伝研究部門　助教授
2002年　国立遺伝学研究所集団遺伝研究部門　教授
2022年　国立遺伝学研究所定年退職、名誉教授
現　在　国立遺伝学研究所　特任教授

伊豆学研究会　理事長
橋本 敬之 氏

NPO法人伊豆学研究会理事長、(公益財団)江川文庫学芸員、静岡県史編集、自治体史編纂に関わられ、それらの成果を基に「伊豆大辞典」を編纂、刊行。江川邸では「江川酒」「パン」「江戸時代の「献立」の再現」等の実施により、地域資源の活用に貢献されている。

富士・箱根・伊豆 国際学会
会長
五條堀 孝

静岡県マリンオープンイノベーション(MaOI)機構 研究所長
アブドラ国王科学技術大学特別栄誉教授(サウジアラビア)
国立遺伝学研究所　前副所長　名誉教授
公益財団法人 遺伝学普及会・代表理事
ローマ教皇庁アカデミー正会員　アメリカ科学芸術アカデミー会員　国際計算生物学会フェロー
早稲田大学研究招聘教授 日本大学客員教授／北里大学客員教授／福島県立医科大学特任教授
理学博士・紫綬褒章受賞
専門:分子進化学、集団遺伝学、ゲノム進化学、バイオインフォマティクス(情報生物学)、海洋生命科学、DNA鑑定

慶應大学 名誉教授
富士・箱根・伊豆 国際学会
副会長
奥村 昭博

前静岡県立大学副学長1945年生まれ。1975年米国ノースウエスターン大学経営大学院修了MBA、1976年から2008年まで慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授(ビジネススクール)、慶應義塾大学名誉教授、2008年静岡県立大学副学長 東京大学、北海道大学、ヨーロッパ経営大学院、ウエールズ大学などで非常勤講師、訪問研究員などを務める。

静岡県立大学経営情報
イノベーション研究科　教授
富士・箱根・伊豆国際学会　理事
竹下 誠二郎

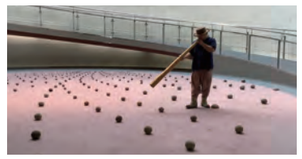
ロンドンの金融街にて24年間勤務後、2015年より静岡県立大学経営情報学部教授(2017～21学部長)・経営情報イノベーション研究科教授(2023～研究科長)。比較ガバナンスを中心とした国際比較・経営を主に研究している。国際会議での頻繁な講演を行っており、さらにBBCやCNNなどをはじめとした海外メディア出演回数は2,500回を超える。ノースウエスタン大学ケロッグ経営大学院MBA、ロンドン大学Ph.D.。

静岡県理事
(東アジア文化都市担当)
渋谷 浩史 氏

現　静岡県理事(東アジア文化都市担当)として、東アジア文化都市事業の陣頭指揮を行う。県庁では、人材マネジメントに長く従事し、以後、県教育行政、文化行政の統括職を歴任して、2022年12月から現職。

現代美術作品展示

会場　韮山時代劇場 大ホール周辺



現代美術家・演奏家
白砂 勝敏 氏
富士宮市在住

HP

10/15(日)
受付 9:00 より

10月15日は地元高校生／一般参加による東アジア文化都市に関連する研究・活動に関してのポスター発表を行います。そして第二部として、この地域の「食文化」を歴史から紐解くと同時に、未来に向けてビジョンを語ります。第三部はインド、中国、韓国を経由して伝わり、今も息づく「伊豆仏像文化」に着目し、その魅力と活かし方について熱く討論していただきます。

開　　会　9:20
担当者説明　9:25〜9:30

第一部　研究／活動発表　9:30〜10:45
（高校／一般の部によるショートプレゼンテーション）

第二部　歴史から紐解く地域の食文化 10:50〜12:40

テーマトーク　10:50〜11:25

「東アジアと江戸の食文化」

国士舘大学　名誉教授　原田 信男 氏

パネルディスカッション　11:30〜12:40

「江戸時代の食文化から紐解く ガストロノミーの可能性」

パネリスト　橋本 敬之 氏・柴山 崇志 氏
関口 寛 氏・原田 信男 氏
コーディネーター　石川 佐和子 氏

第三部　伊豆仏像文化　13:40〜15：25

テーマトーク　13:40〜14:25

「知られざる仏像半島伊豆」

上原美術館　主席学芸員　田島 整 氏

パネルディスカッション　14:25〜15:25

テーマ **「伊豆仏像文化のブランディング」**

パネリスト　静岡県スポーツ・文化観光部文化局 文化財課
課長代理　河合 修 氏
願成就院　住職　小崎 祥道 氏
仏像好きアナウンサー　久保 沙里菜 氏
富士・箱根・伊豆 国際学会
仏像文化担当　室伏 強志
コーディネーター 田島 整 氏

第四部　研究／活動発表 表彰　15:30〜16:00

昼 食 休 憩　12:40〜13:40
研究／活動発表　ポスターセッション

閉 会 挨 拶　東京大学大学院　教授
富士・箱根・伊豆 国際学会　副会長 小林 武彦

ポスター発表

一般	研究	ピロリ菌で探る日本人の起源	国立遺伝学研究所
一般	研究	KeTCindyJSを用いた数学html教材の実装について	沼津高専
一般	研究	茶園上方からの写真画像を用いた新葉の生産量と成分の解析	沼津高専
一般	活動	カリフォルニアで生きる日系アメリカ人の足跡を訪ねて	順天堂大学
一般	活動	当看護系大学保健室の現状と現在までの取り組みについて	ー
一般	活動	大豆栽培を通じた社会貢献	常葉大学
一般	活動	地域第一次産業へのIoT技術の適用：水わさび栽培・養鱒・獣害対策における取り組み	沼津高専
一般	活動	富士市役所からの富士山観測：統計と今後の展開について	沼津高専
一般	活動	製造現場の効率化を目的とした工程管理システムの開発	沼津高専
高校	研究	災害情報の迅速な収集・発信のためのアプリケーション開発	沼津高専
高校	研究	西伊豆・南伊豆に生息するオオシマザクラはなぜクマリン含量が高いのか	韮山高校・松崎高校
高校	研究	伊豆半島周辺のマイクロプラスチック調査〜韮山高校の調査4年間の結果〜	韮山高校
高校	研究	イオン化傾向逆転電池の起電力測定	下田高校
高校	研究	河津川Y字合流点でのマイクロプラスチック調査	下田高校
高校	研究	おんせん野菜で農業を元気に！〜温泉水を活用した作物栽培の実践〜	田方農業高校
高校	活動	静岡自慢の郷土料理探求&郷土料理と歩む未来の静岡の観光	韮山高校

富士山絵伝の掛軸およびアニメ

会場　映像ホール

語り部ライブパフォーマンス ※一般公開　語り部ライブ 30 分＋製作者クロストーク 30 分	11:00〜12:00 13:00〜14:00
展示　一般公開	10:00〜16:00

10月15日　登壇者

国士舘大学　名誉教授
原田 信男 氏

専攻:日本生活文化史。1949年栃木県生まれ。1983年明治大学大学院博士後期課程退学（1998年史学博士）。札幌大学女子短期大学部専任講師、2002年国士舘大学教授。2020年同大学名誉教授。京都府立大学客員教授。著書:『江戸の料理史』（中公新書、サントリー学芸賞受賞）、『歴史のなかの米と肉』（平凡社選書、小泉八雲賞受賞）、『和食と日本文化』（小学館）、『「共食」の社会史』（藤原書店）など

耕心庵　次五ゑむ 主宰
柴山 崇志 氏

1962年生まれ、福岡市出身。伊豆修善寺温泉　柳生の庄に40年勤務。10年間、総料理長を務める。静岡県専門調理師連合会「瑞松会」副会長。2020年に出張茶懐石・仕出しを行う「耕心庵　次五ゑむ」を創業。2015年に「ふじのくに食の都づくり仕事人」、2020年に「駿河の名工　静岡県技能士会」認定。茶道裏千家　専任講師、全日本居合道　範士8段の資格を持つ。

伊豆学研究会　理事長
橋本 敬之 氏

10月14日登壇者 参照

華味　オーナーシェフ
関口 寛 氏

1962年栃木県栃木市生まれ。1981年、18歳で横浜中華街の銘店「華正樓」に入店、その後「華勝樓」の修行を経て、28歳で三島「大龍」の料理長となる。2002年、「王味」を開業。現在は移転し2019年から「華味」のオーナーシェフとして腕を振るう。「より気軽に、時に贅沢に」楽しんでいただくことを大切にしている。中国古典料理を得意とするが、現在のお店では特定の地域の料理にこだわらず、中国料理の特長を生かしつつ、老若男女問わず日本人の舌に合うように研究した料理を提供している。

漁網・船具 塚田商店
代表
石川 佐和子 氏

1964年沼津市生まれ。漁網・船具　塚田商店三代目。生家は、漁業資材（漁網・漁具・船具）の販売の生業をしていたため幼少期より新鮮な食材に恵まれ、捕れたての魚が朝から食卓に上がる家庭で育つ。第一次産業である漁業と深く関わる家業を10年前に継承。常に食に興味をもち「食べもので身体が出来ている」との思いで旬を大切にしながら食事を作る毎日を送っている。食に対する貪欲さを買われ今事業の食文化チームに参加。パネルディスカッションのコーディネーターを務める。静岡経済同友会東部協議会 事務局職員としても従事。FHIX法人会員。

上原美術館　主席学芸員
田島 整 氏

1970年東京都狛江市に生まれる。大正大学仏教学部仏教学科を卒業。東京都板橋区の私立大乗淑徳学園高等学校にて、社会科講師を10年間つとめた後、平成14年より上原美術館学芸員として勤務。現在は主任学芸員。伊豆の仏像調査をライフワークとし、調査した仏像はおよそ1300体。調査成果は上原美術館の特別展で紹介するほか、講演や執筆活動、地元ケーブルテレビやラジオ番組で発表している。

願成就院　住職
小崎 祥道 氏

昭和11年、寺で生まれる。國學院大學史学科に学び、昭和35年卒業後、高野山専修学院にて1年間の修行を成満。高野山高等学校に奉職、社会科教員として2年間のお礼奉公を勤めて下山し、自坊に戻る。昭和38年三島高等学校に奉職後、在職38年。最後5年間は校長職を勤めて、定年退職する。昭和62年先代住職遷化により住職となり、本年在職37年目を迎える。

フリーアナウンサー
久保 沙里菜 氏

静岡県富士市出身のフリーアナウンサー。SBSラジオの情報番組「ラジオイースト」のメインパーソナリティーやテレビリポーター、司会を務める。また7歳の頃から仏像に魅せられ、仏像インフルエンサーとしても活動。全国各地で仏像巡りをしながらお寺でのイベントや仏像の講演会、仏像展のアンバサダーを務め魅力を発信中。

静岡県スポーツ・文化観光部文化局文化財課課長代理
河合 修 氏

静岡県スポーツ・文化観光部文化局文化財課課長代理。平成6年度から静岡県の埋蔵文化財保護行政に従事し、平成22年度以降の本庁勤務を経て令和2年度より現職。

富士・箱根・伊豆 国際学会
仏像文化担当
室伏 強志

10/31 (火)
受付 9:30 より

富士山を仰ぐ日本屈指の温泉集積地伊豆で、伊豆のジオが育んだ貴重な資産「温泉」と、健康を基に豊かな人生を実現する「ウェルネス」の組み合わせを「温泉文化」と捉え、「温泉とウェルネス＋ICT」をテーマに温泉文化の可能性を掘り下げます。さらに伊豆温泉地の魅力を享受した文豪達の魅力を「旅館おかみ」の視点で伝え、「温泉」「自然」「人情」にも光を当て、伊豆の見えざる「さらなる魅力」を掘り起こします。

開催会場　ぬまづプラサヴェルデ（静岡県沼津市大手町 1-1-4）

セレモニー　10:00〜10:10

開　　会
会長挨拶　富士・箱根・伊豆 国際学会　会長　五條堀 孝
開催説明

第一部　おかみ学　10:10〜12:15

テーマトーク　10:10〜11:00

「伊豆の温泉と文化」

元日本大学国際関係学部　教授　宮川 幸司 氏

パネルディスカッション　11:00 〜12:15

「文豪を育てたおかみたち」

パネリスト　福田屋【川端康成】(河津町湯ケ野)
大女将　稲穂 照子 氏

白壁【井上靖】(伊豆市湯ヶ島)
大女将　宇田 倭玖子 氏

新井旅館【岡本綺堂】(伊豆市修善寺)
女将　森 桂子 氏

安田屋旅館【太宰治】(沼津市三津)
大女将　安田 康江 氏
※五十音順

コーディネーター　日本大学　名誉教授　佐藤 三武朗 氏
富士・箱根・伊豆 国際学会 会長 五條堀 孝

福田屋 大女将
稲穂 照子 氏

白壁 大女将
宇田 倭玖子 氏

新井旅館 女将
森 桂子 氏

安田屋旅館 大女将
安田 康江 氏

休　憩　12:15 〜 13:30

第二部　伊豆の温泉文化
〜温泉×ウェルネス＋ICT〜　13:30〜16:00

温泉医療対談　13:30〜14:20

「伊豆の温泉とウェルネス」

ＪＡ静岡厚生連リハビリテーション中伊豆温泉病院
病院長　安田 勝彦 氏

ＪＡ静岡厚生連リハビリテーション中伊豆温泉病院
名誉院長　勝部 定信 氏（元中伊豆温泉病院 病院長）

司会　富士・箱根・伊豆 国際学会　会長　五條堀 孝

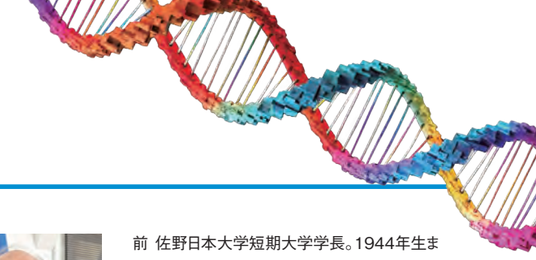
パネルディスカッション 14:30〜16:00

「伊豆の温泉の可能性と未来」

パネリスト　「天城流湯治法」 杉本 錬堂 氏
(株) 竹屋旅館　代表取締役　竹内 佑騎 氏
富士・箱根・伊豆 国際学会
スマート地域DNA担当　逸見 康成

コーディネーター　日本健康開発財団　研究調査部
主席研究員　後藤 康彰 氏

閉 会 挨 拶　東京大学大学院 教授
富士・箱根・伊豆 国際学会 副会長 小林 武彦



10月31日　登壇者

高崎経済大学大学院地域政策研究科修了。地域政策学修士。鉄道会社、旅行会社勤務を経て短期大学講師に。その後日本大学短期大学部助教授〜教授を経て国際関係学部教授に転籍。現在は特任教授。

元日本大学国際関係学部　教授
宮川 幸司 氏

前 佐野日本大学短期大学学長。1944年生まれ。専門は比較文化。英国留学を経て、日本大学国際関係学部助教授、教授、学部長。日本大学理事、日本大学副総長、日本大学総長代理代行を歴任。2013年 地域教育行政功労者として文部科学大臣賞受賞。2022年教育研究功労者として瑞宝中綬章を叙勲されている。

日本大学　名誉教授
佐藤 三武朗 氏

1985年　順天堂大学医学部卒業
同　年　順天堂大学医学部附属順天堂医院
内科　臨床研修医
1987年　順天堂大学医学部
膠原病内科学講座　専攻生
1995年　同　助手
1997年　JA静岡厚生連
中伊豆温泉病院　内科医長
2011年　同　副院長
2014年　同　院長
現在に至る

ＪＡ静岡厚生連
リハビリテーション
中伊豆温泉病院　病院長
安田 勝彦 氏

1969年 鹿児島大学医学部卒業
1975年 JA静岡厚生連中伊豆温泉病院
整形外科
1991年 同 副院長
2000年 同 院長
2005年 同 総長
2006年 同 名誉院長
現在に至る

ＪＡ静岡厚生連
リハビリテーション
中伊豆温泉病院　名誉院長
勝部 定信 氏

富士・箱根・伊豆 国際学会
会長
五條堀 孝

10月14日登壇者 参照

富士・箱根・伊豆 国際学会
スマート地域DNA担当
逸見 康成

1950年1月15日生まれ。一般社団法人天城流湯治法協会代表。天城流湯治法 湯治司。
1996年健康保養による町づくりと地域活性を目指すヒーリングストーンズを設立。2000年日本の温泉療法アドバイザーとして招喚され渡独。2001年NPO法人錬堂塾を設立。静岡県地域づくりアドバイザー、健康・福祉・まちづくりアドバイザーとなる。2007年湯治を世界に誇れる日本の健康文化として海外発信。アメリカ、ヨーロッパ、台湾、オーストラリアと活動を広げ、世界中に2000名以上の指導者を育成する。2015年、一般社団法人天城流湯治法協会設立。2020年、一般社団法人天城流医学学会設立。

「天城流湯治法」
杉本 錬堂 氏

1982年生まれ　大阪大学経済学部、早稲田大学大学院商学研究科MBA卒。大学卒業後、東京三菱銀行（現三菱東京UFJ銀行）を経て、(株)竹屋旅館に入社。創業者である竹内ぎんの言葉「観光業はその地と共に育つ」の教えに強く影響を受ける。2015年に事業承継し、㈱竹屋旅館の4代目に就任。2017年には健康食事業を拡げていくため医師や歯科医師、栄養士、調理師ら専門家と共に（一社）日本医食促進協会を、2018年には観光・まちづくり事業を手掛けるため地域複業モデルで（株）Otonoを設立。2022年より沼津市戸田（西伊豆）にて温泉宿AWA西伊豆を開業。

㈱竹屋旅館　代表取締役
竹内 佑騎 氏

加齢を制御する生活行動としての「日本の入浴」に注目。その原点となる「温泉」を活用した「健康づくり」に関する研究・調査・人材育成に30年来従事。海外の日本の「温泉入浴」普及を学術・ツーリズム分野でも発信している。近年は海外のヘルスケア産業と温泉を組み合わせたプログラムづくりや人材育成にも取り組んでいる。2023年度は静岡県が推進する伊豆ヘルスケア温泉イノベーション（ICOI）プロジェクトのコーディネーターを務める。

日本健康開発財団　主席研究員
フロフェッサー・医学博士
ICOIプロジェクトコーディネイター
後藤 康彰 氏

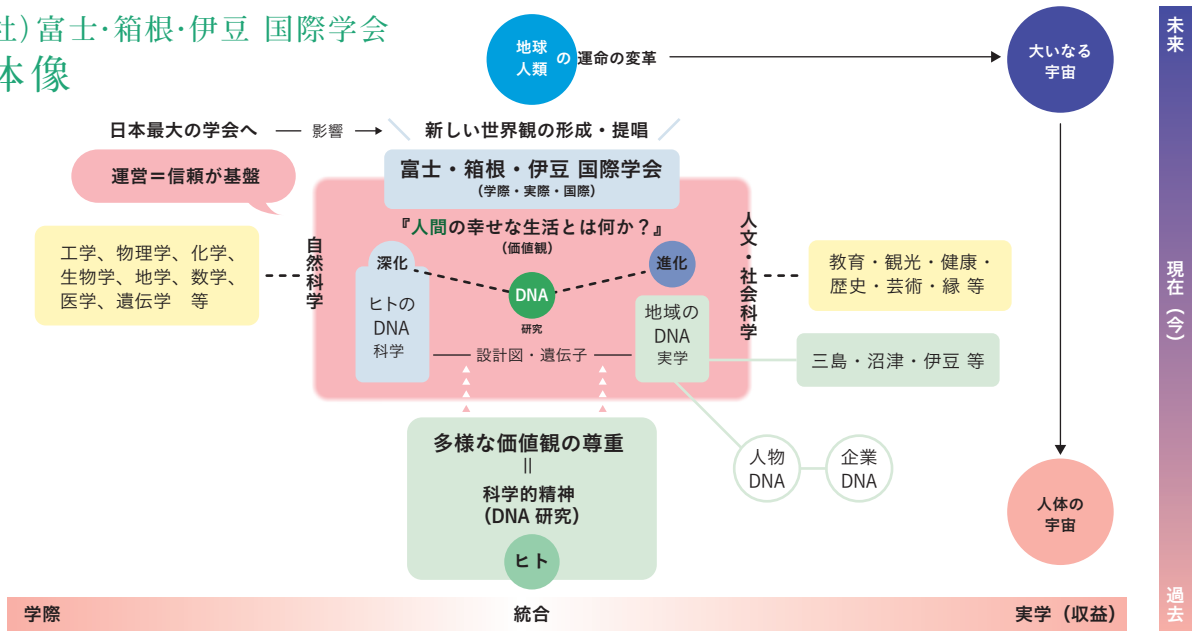
アクセスマップ

主催：(一社) 富士・箱根・伊豆 国際学会　　共催：東アジア文化都市静岡県実行委員会

協賛企業・団体 ※五十音順

(株)アイ・クリエイティブ　旭化成ファーマ(株)　(株)エヌ・ティー・エス　司法書士 遠藤隆　加和太建設(株)　(株)雅心苑　(一社)参加型社会学会
(株)集客デザイン研究所　伸東測量設計(株)　竹村税理士事務所　知徳高校同窓会　(株)桃中軒　沼津グランドホテル　沼津信用金庫
ひろメンタルクリニック　(株)平成建設　(株)前田建設　三島信用金庫　(株)メタブレーン　(株)八木繊維　屋台風中国茶房香香飯店
(株)吉野エージェンシー　(株)ラピュター

(一社)富士·箱根·伊豆 国際学会 全体像



株式会社　グローバル・エンゲージメント・ジャパン　(事務局および事業化を担当)

富士・箱根・伊豆
国際学会
FHIX

(一社) 富士・箱根・伊豆　国際学会

「富士・箱根・伊豆」から学際的で実学的な総合学問体系を確立し地域創生の国際的な拠点を目指します。

〒411-0855 静岡県三島市本町 7-30 Via701 3階

Web https://issfhix.com　**メールアドレス** office@issfhix.com

学会HP

YouTube

YouTube でのオンライン配信があります（視聴URLについては、後日ご連絡させていただきます）

本件に関するお問い合わせ　(一社) 富士・箱根・伊豆 国際学会 事務局：080-3280-3939(室伏)